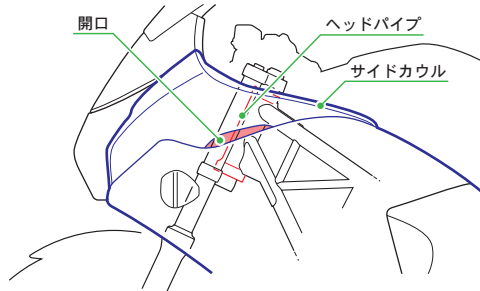


■扱いやすく、しなやかな走りを実現

車体系：表記したものを含む計 18 件

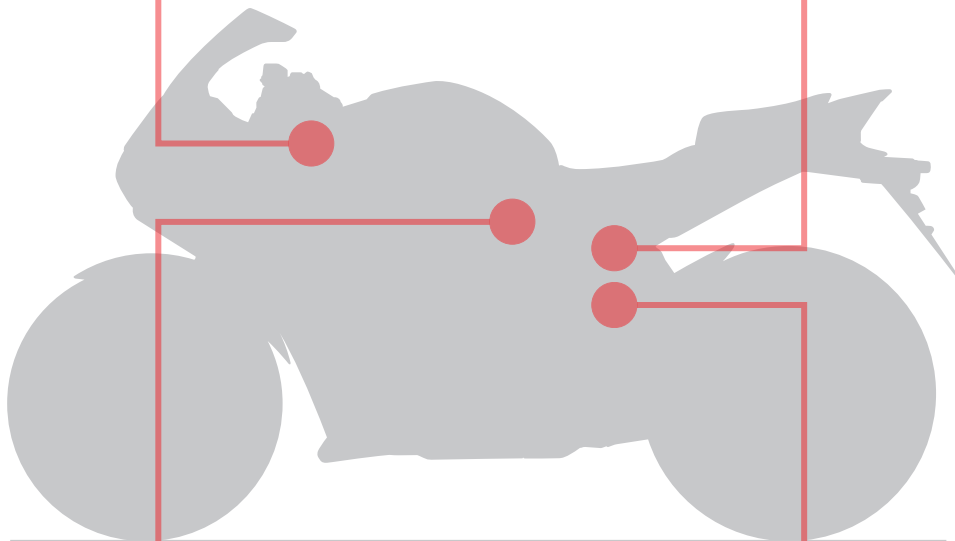
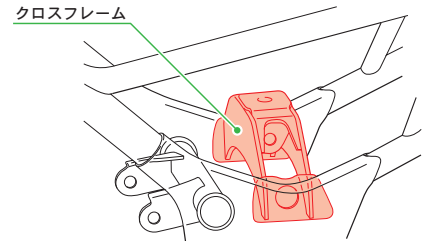
【軽快なハンドリングに寄与するカウル構造】

カウルのレイヤー部に設けた開口により、車体旋回初期時の倒し込みの軽快さを向上。



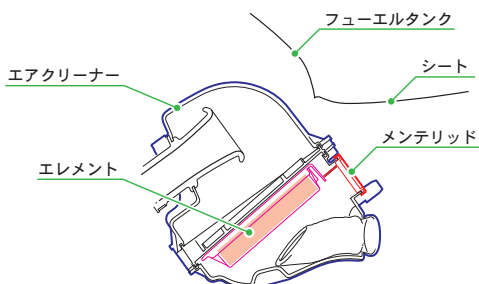
【車両軽量化を実現した新フレーム構造】

リアクッションの上端を支持するクロスフレームをプレートメンバーで構成し、アーチ状にすることで、軽量でありながら、リアクッションを支持するのに十分な剛性のあるクロスフレームを実現。



【吸気効率とメンテナンス性に優れたエアクリナー構造】

エアクリナーエレメントとメンテナンスリッドの配置を工夫することで、エアクリナーを吸気効率が向上する配置にしなが、シートを外すだけでメンテナンスができるようにした。また、この構造によりエアクリナーエレメントのダークサイドが下となるため、脱着の際、クリーンサイドへの塵の侵入を防ぐ。



【優れた運動性能を実現した ABS モジュール配置】

車体中心線上に ABS モジュールとリアクッションを近接配置することで、左右の重量配分の適正化とマスの集中を実現し、車両の運動性能を向上。

